

政治経済学 II

第9回：貧困

矢内 勇生

法学部・法学研究科

2015 年 6 月 10 日



神戸大学

今日の内容



- 1 貧困 (poverty)
 - イントロダクション
 - 貧困と援助

- 2 貧困の罠 (poverty trap)
 - ある貧乏人の話
 - 貧困の罠は存在するか？

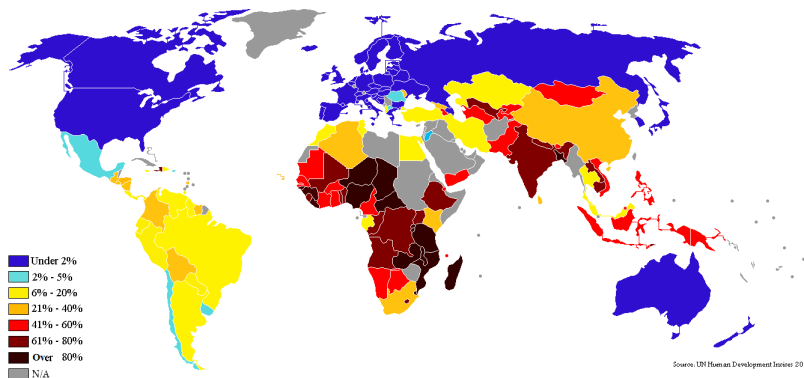


不都合な事実？

- 30 億人が 1 日 2.5 ドル以下（物価調整済み、家賃は除く）で生活
- およそ 10 億人が 1 日 1.25 ドル以下で生活
- 10 億人以上の子どもが貧困層：毎日 22,000 の子どもが**貧困のせいで**死亡
- 8 億人以上が十分な食事を摂っていない
- 7 億 5 千万人以上が安全な水を飲めない：そのせいで、1 日約 2,300 人が死亡
- 5 歳以下の子どもの 1 億 7 千万人が栄養失調
- 1 歳未満の子どものうち 2 千万人が、ジフテリア、破傷風、百日咳の予防接種を受けられない
- 約 16 億人は電気なしで生活
- 世界人口の 80%が 1 日 10 ドル以下で生活
- 世界における**死因の第 1 位は飢え**である

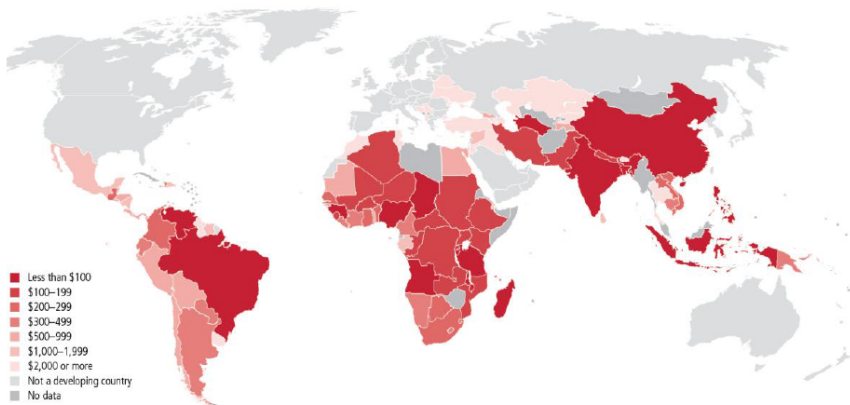


世界の貧困：1日2ドル以下で生活する人の割合



出典：Wikipedia

世界の貧困：一人当たり ODA



出典：Development Initiatives

貧困線



貧困の基準

- 貧困とは何か？
- 貧困とそれ以外を分ける基準は？
- 貧困を分ける基準：貧困線
- 貧困線の引き方は様々：絶対的貧困と相対的貧困



絶対的貧困

- 絶対的基準によって貧困を決める
 - 購買力平価で1日1.25ドル未満（世界銀行 2005）
 - 次のリストのうち2つ以上を欠く場合（UN 1995）：食料（BMI > 16）、安全な飲料水、汚物処理施設、健康（重病と妊娠の際に医療にアクセスできること）、住居（1部屋に4人未満、きれいな床）、教育（読み書きを習えること）、情報、サービスへのアクセス
- 絶対的貧困線のメリット：世界中のあらゆる社会を同じ基準で比較できる
- デメリット：基準の選び方が恣意的
- 絶対的貧困はグローバルな格差に関わる

相対的貧困



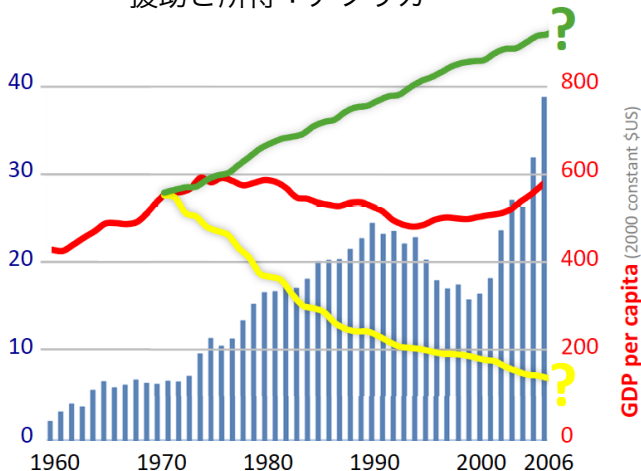
- 国ごとに貧困線を引く
- 基準：可処分所得の中央値の半分
- 相対的貧困線のメリット：基準が客観的
- デメリット：国ごとに「貧困」の意味や程度が大きく異なる
- 相対的貧困は国家内の経済格差に関わる



援助肯定派と否定派の争い

- Q：貧しい人たちがいるなら、金持ち（先進国）が助ければいい？
- **Yes!** Jeffrey Sachs 『貧困の終焉』
- **No!!!** William Easterly 『傲慢な援助』、Dambisa Moyo 『援助じゃアフリカは発展しない』

援助と所得：アフリカ



Sources: Easterly, "Can the West Save Africa", WDI

Duflo の講義スライド： www.pooreconomics.com



Banerjee と Duflo らの実験による検証

- 社会実験 (Randomized Control Trials) によって援助（政策）の効果を検証
- Duflo の TED talk: [Social Experiments to Fight Poverty](#)



Pak Solhin の話 (Banerjee and Duflo 2011: pp.20–22)

- Banerjee と Duflo が Pak Solhin の話
- 2008 年
- インドネシアの農村
- PS は一人で家にいた
- 妻はジャカルタでメイドの仕事
- 13 歳の長男は近くの都市で建設作業員として労働
- 長男以外の 2 人の子どもは祖父母と生活
- 家には家具も、水道も、電気もない



Pak Solhin の話 (2)

- かつては農業労働者
- 土地は持っていない：両親が 13 人の子どもの住む場所を確保するために土地を使ったから
- 肥料と石油の値段が上がったため、PS は解雇された
- 給与カットではなく失業：給与カットでは、十分な食事が摂れない
- 建設作業員の仕事は得られない：ひ弱すぎる
- 肉体労働以外の仕事も得られない：能力がない
- 見習い労働もできない：歳を取り過ぎている



Pak Solhin の話 (3)

- 家族を養えない：妻と長男が都市へ
- 二人の給与では残りの子どもを養えない：子どもは祖父母の元へ
- お金を貸してくれるところもない
- 長男は優秀だったが、学校を中退して建設作業員に
- PS 自身は支給されるコメと自分で取る魚（ただし、泳げないのでまともな漁はできない）を食べる
- 週に4回は1日2食、3回は1日1食

Pak Solhin と貧困



- この話の何が問題か？
- Pak Solhin の話は特殊か？
- Pak Solhin の話は貧困問題一般に通じる要素を持つか？

貧困の罠は存在するか？

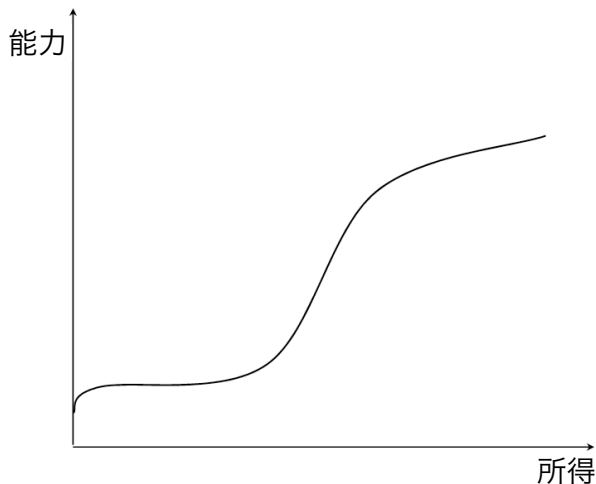
栄養による貧困の罠



- 摂取したカロリーは、まず生存のために消費される
- 必要最低限のカロリーでは、肉体は強化されない
- 生存に必要なカロリーを超えた分が、肉体の強化に費やされる
- Pak Solhin のように貧しい人々
 - 肉体を強化するためのカロリーを摂取できない
 - 生産性をあげるための必要なカロリーがない
 - 満腹で食べられないわけではない：もっと食べられる
 - 食べる機会があれば、食べるだろう

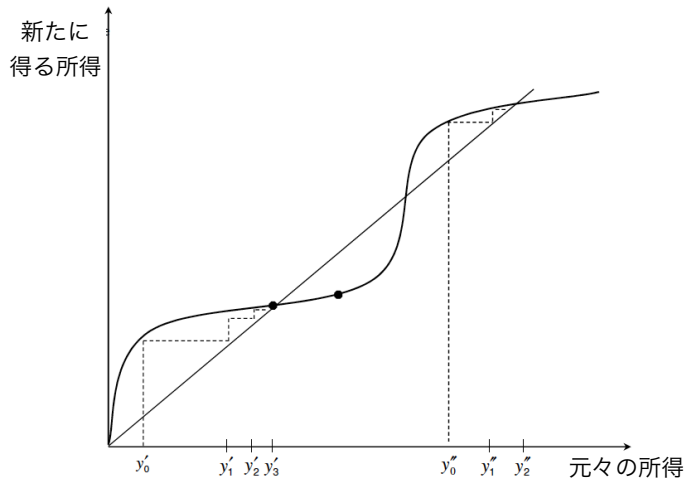
貧困の罠は存在するか？

所得（栄養）と能力の関係



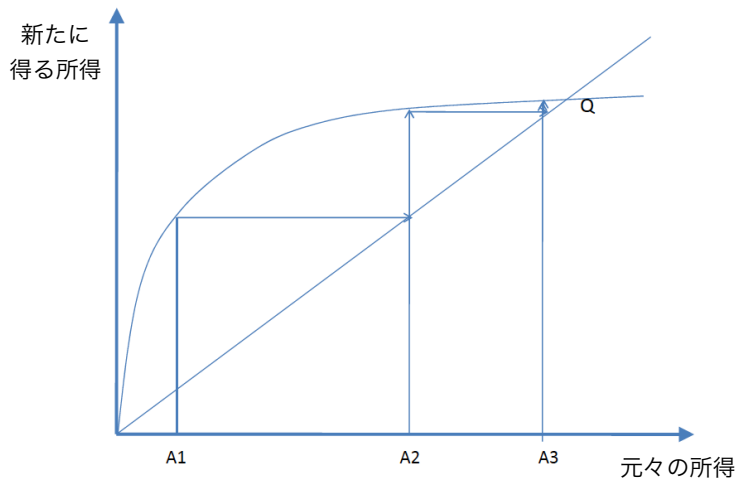
貧困の罠は存在するか？

貧困の罠



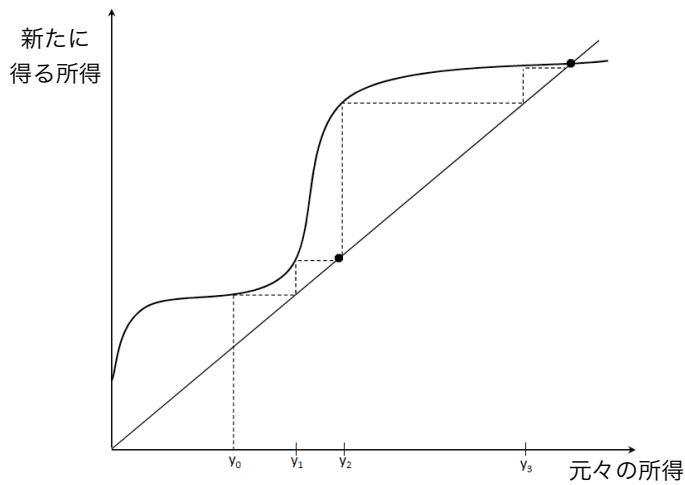
貧困の罠は存在するか？

貧困の罠の不在 (1) : 凹関数



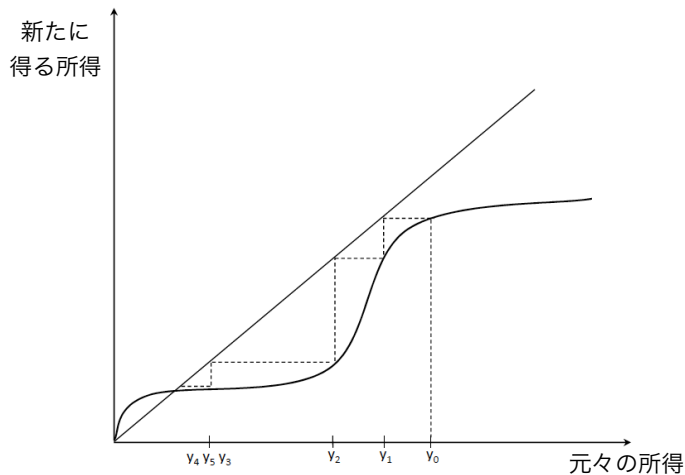
貧困の罠は存在するか？

貧困の罠の不在 (2) : 能力の底上げ



貧困の罠は存在するか？

貧困の罠の拡大：能力の低下



貧困の罠は存在するか？

貧困の罠が発生するのはどんなときか？



- 貧困の罠は、どんな能力曲線のときに生じるか
- 貧困の罠は、どんなメカニズムで人々を貧困に陥れるか
- 貧困の罠は、初期条件に依存するか？ 初期条件の違いは結果にどんな違いをもたらすか？
- 貧困と経済格差は無関係か？

貧困の罠は存在するか？

貧困と政治経済学



- (絶対的) 貧困をなくしたい (減らしたい) と仮定する
- 政治経済学的な解決案は？
- 制度変更？
 - 大きな (国家規模、体制転換などの) 制度変更？
 - 小さな (地域やコミュニティレベル、特定の問題に関する) 制度変更？
- なんのための制度変更？

次回のテーマ



日本の不平等

- 日本は平等な国か？
- 日本で格差は拡大しているのか？
- 日本の格差は問題か？